



NEW STAFF

新人自己紹介

2015年12月1日着任

野田 一平

のだ・いっぺい

機器センター
コーディネーター

大阪大学で学位取得後、ハーバード大学での博士研究員を経て、企業で30年以上勤務した後、2015年12月から機器センターで勤務させて頂いています。前職では、ナノテク等の新技術開発及び新商品開発を経て新事業開発推進を行ってきました。今後は、不勉強な所が多々あると思いますので、分子研の先生方また職員の方々から色々とアドバイスを頂いて、少しでも皆様のお役に立てるように努めて参ります。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

2016年1月1日着任

加藤 隆士

かとう・たかし

理論・計算分子科学研究領域
理論分子科学第一研究部門 特任専門員

本年1月より理論・計算分子科学研究領域の特任専門員を拝命しました。文部科学省のポスト「京」重点課題アプリケーション開発・研究開発の重点課題5「エネルギーの高効率な創出、変換・貯蔵、利用の新規基盤技術の開発」（課題責任者：岡崎 進・教授）の事務局として対応しております。分子科学研究所の発展に微力ながら尽力いたしますので、宜しくお願いいたします。

2016年3月1日着任

鈴木 達哉

すずき・たつや

岡崎統合バイオサイエンスセンター
生命動秩序形成研究領域 特任研究員

岐阜大学で学位取得後、台湾Academia Sinicaでの一年間の博士研究員を経て、2016年3月に着任いたしました。これまでは糖脂質及びグリコサミノグリカンの化学合成の研究を行ってきておりました。着任先の加藤グループでも自身の専門を活かし、核酸、蛋白質、糖鎖など生体高分子の織り成すダイナミクスを解き明かす、構造・機能解析用プローブ分子の開発に取り組んでいきます。よろしくお願い申し上げます。

2016年4月1日着任

藤田 貴敏

ふじた・たかし

理論・計算分子科学研究領域
理論・計算分子科学研究部門 特任准教授

神戸大学にて学位取得後、日本学術振興会特別研究員、ハーバード大学博士研究員、京都大学博士研究員を経て、2016年4月1日より現職に着任いたしました。分子集合体の光電子物性や励起子ダイナミクスに関する理論研究に取り組んでいます。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

2016年4月1日着任

伊澤 誠一郎

いざわ・せいichろう

物質分子科学研究領域
分子機能研究部門 助教

東京大学で学位を取得後、日本学術振興会特別研究員として理化学研究所、カリフォルニア大学サンタバーバラ校訪問研究員を経て、2016年4月に平本グループの助教に着任いたしました。有機半導体界面など有機膜中のナノ構造と基礎物性との相関を調べて、有機薄膜太陽電池などの有機エレクトロニクスデバイスの実用化に貢献できるような研究をしたいと考えています。よろしくお願いいたします。

2016年4月1日着任

藤本 将輝

ふじもと・まさき

極端紫外光研究施設
光源加速器開発部門 助教

大阪大学産業科学研究所にある自由電子レーザーを使って強力なテラヘルツ単色光発生についての研究を行いながら学位取得後、今年度よりUVSOR加藤グループに着任いたしました。荷電粒子の運動が生み出す実に自由で多様な電磁場構造に興味があり、UVSORの開発研究を通じて放射光光源の発展に貢献できるよう努力いたします。まずはUVSORに愛着をもって接することから始めたいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。



NEW STAFF

新人自己紹介

2016年4月1日着任

浅田 瑞枝

あさだ・みずえ

物質分子科学研究領域

電子物性研究部門 特任助教



名古屋大学で学位取得後、4月より中村グループの特任助教として着任いたしました。これまで、ESRを用いて生体分子中の金属錯体の磁気構造解析や、スピンラベリングによる構造解析を行ってきました。今後は、高周波ESRを用いた研究、固体や生体分子中の電子スピンの性質を明らかにする予定です。

どうぞ、よろしくお願いいたします。

2016年4月1日着任

重田 育照

しげた・やすてる

理論・計算分子科学研究領域

理論・計算分子科学研究部門 客員教授



2000年に大阪大学大学院理学研究科にて博士（理学）取得後、同年日本学術振興会特別研究員（PD）、2003年東京大学大学院工学系研究科助手、2007年筑波大学大学院数理物質科学研究科講師、2008年兵庫県立大学ピコバイオロジー研究所特任准教授、2010年大阪大学大学院基礎工学研究科准教授を歴任し、2014年から筑波大学大学院数理物質科学研究科教授。専門はナノバイオ系の理論化学。

2016年4月1日着任

加藤 毅

かとう・つよし

理論・計算分子科学研究領域

理論・計算分子科学研究部門 客員准教授



本年4月より客員准教授を務めさせて頂いております。東北大学にて学位取得後、分子研では2000年5月から2年半、谷村吉隆先生のグループでIMSフェローとしてお世話になりました。現在は東京大学にて、分子の量子動力学をテーマに研究を行っています。最近、様々な量子動力学理論との関係性にも興味を持ち、その翻訳に取り組んでいます。この機会に分子研の方々と共通の興味対象を見い出したいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

2016年4月1日着任

永田 勇樹

ながた・ゆうき

理論・計算分子科学研究領域

理論・計算分子科学研究部門 客員准教授



東京大学学士・修士卒業、京都大学博士修了後、ドイツのBASF本社で働く。リーマンショックを機に退社、カリフォルニアでポスドクの後、マックスプランク研究所でグループリーダーに。日本は十年程縁がなかったので、分子研に寄ることができるのは望外の喜びです。外資系企業での勤務と海外でのPIの経歴がユニークなところですので、その辺りのお話も含めて分子研の方々と交流できたらと思っています。

2016年4月1日着任

岸本 哲夫

きしもと・てつお

光分子科学研究領域

光分子科学第四研究部門 客員准教授



本年4月に着任しました。東京大学で学位取得後、米国JILA研究所と東京大学でポスドクや助教、電気通信大学でテニユアトラックポストを経て、2012年から同大学に准教授として在籍しています。専門は極低温量子気体を用いた新奇物理現象の開拓で、現在ボース凝縮体の連続生成を目指しています。今後、皆様の研究に微力ながら貢献できればと思っています。よろしくお願いいたします。

2016年4月1日着任

中村 雅一

なかむら・まさかず

物質分子科学研究領域

物質分子科学研究部門 客員教授



奈良先端科学技術大学院大学 物質創成科学研究科に所属しており、本年4月に客員教授として着任いたしました。現在の専門は「有機エレクトロニクス全般」ですが、得意とするところは、薄膜成長・表面分析・走査型プローブ顕微鏡などです。分子研は、院生時代にUVSORのユーザーとしてお世話になり、私が研究者を志すきっかけの一つとなった場所です。何らかの形で恩返しできれば幸いです。

2016年4月1日着任

田嶋 尚也

たじま・なおや

物質分子科学研究領域

物質分子科学研究部門 客員准教授



本年4月に客員准教授として着任いたしました。2011年より東邦大学理学部に在籍しています。専門は固体物性で、有機導体の電気伝導性を温度・磁場・圧力をパラメーターに調べています。最近、質量ゼロのディラック電子系を発見し、量子ホール効果観測に成功しました。このディラック電子系をチャンネルとしたトランジスタを作製して新奇物理を展開したいと考えています。よろしくお願いします。

2016年4月1日着任

吉川 浩史

よしかわ・ひろふみ

物質分子科学領域

物質分子科学部門 客員准教授



東京大学で学位を取得後、12年間の名古屋大学勤務を経て、平成27年4月より関西学院大学理工学部に着任し、本年4月より分子研客員准教授を拝命しました。名古屋大時代は、施設利用や共同研究で大変お世話になりました。現在の私の研究は、高性能な二次電池用電極材料の創製で、分子科学的視点から研究を行うため、今後も分子研を大いに利用したいと思います。よろしくお願いします。

2016年4月1日着任

生越 専介

おごし・せんすけ

生命・錯体分子科学研究領域

生命・錯体分子科学研究部門 客員教授



本年4月より、生命・錯体分子科学研究領域の客員教授として着任いたしました。大阪大学にて博士課程修了後、有機金属化合物を扱う研究室に移り、そのまま2007年4月より教授に昇任しました。専門は、遷移金属錯体化学に基づく新しい触媒反応の開発を行うとともに、最近では有機フッ素化学において有機金属化合物をどのように利用出来るかについても興味を持っています。よろしくお願いいたします。

2016年4月1日着任

荘司 長三

しょうじ・おさみ

生命・錯体分子科学研究領域

生命・錯体分子科学研究部門 客員准教授



本年4月より生命・錯体分子科学研究領域の客員准教授を拝命いたしました。2002年に千葉大学で学位を取得、奈良先端科学技術大学院大学の博士研究員を経て、2008年に名古屋大学大学院理学研究科の助教、2013年より同准教授を拝命し、名古屋大学にて研究と教育の機会を頂いております。現在は、「酵素を誤作動させる分子の開発」と「酵素の誤作動状態での高難度物質変換」に関する研究を進めております。この機会に分子研の先生方との連携を深め、共同研究に展開できればと考えております。どうぞ、よろしくお願い致します。

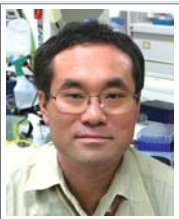
2016年4月1日着任

當舎 武彦

とうしゃ・たけひこ

生命・錯体分子科学研究領域

生命・錯体分子科学研究部門 客員准教授



本年4月に着任いたしました。京都大学で学位取得後、分子研には、2年半の間、北川禎三先生のグループでお世話になりました。米国での研究経験を経て、2009年より理化学研究所SPRING-8に在籍しております。個々の金属タンパク質の反応機構を解明するとともに、それらのタンパク質が細胞内でどのようにして連携して機能しているのかという点に興味を持って研究を進めております。よろしくお願いいたします。

2016年4月1日着任

米澤 恵一郎

よねざわ・けいいちろう

光分子科学研究領域

光分子科学第三研究部門 特別研究員



2016年3月に千葉大学で学位を取得後、4月1日付けで日本学術振興会特別研究員として解良グループに着任いたしました。ただひたすらに機能性有機分子材料の電子物性解明に諸光電子分光法を用いて取り組んでおります。薩摩隼人魂を胸に様々なことに果敢に取り組んで行きたいと思っております。どうぞよろしくお願いします。



NEW STAFF

新人自己紹介

2016年4月1日着任

福田 真 悟

ふくだ・しんご

生命・錯体分子科学研究領域
生体分子機能研究部門 研究員

この3月に金沢大学で学位取得後、加藤グループに博士研究員として着任しました。これまで、高速AFMの開発とそれを用いたタンパク質の一分子観察を行ってきました。現在、新学術領域「動的秩序と機能」の国際活動支援をうけてカリフォルニア大学バークレー校で研究をしています。高速AFMや光ピンセットなどの手法を用いて生体分子の構造動態に迫りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

2016年4月1日着任

川 口 玄 太

かわぐち・げんた

協奏分子システム研究センター
機能分子システム創成研究部門 研究員

京都大学博士後期課程単位取得退学ののち、2016年4月より協奏分子システム研究センター山本グループの研究員として着任いたしました。これまでは、分子性導体におけるスピンと電荷の相互作用について、物性測定を中心に研究を行ってきました。今後は、新たな分子性エレクトロニクスの開拓に向けて、日々努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

2016年4月1日着任

河 合 文 啓

かわい・ふみひろ

岡崎統合バイオサイエンスセンター
生命動秩序形成研究領域 研究員

これまでタンパク質のX線構造解析をもちいて、病原性細菌やウイルスのタンパク質の立体構造解析を行ってきました。少し分野を移動し、新しい技術や実験法を身に付けていきたいと思っています。よろしくお願いします。

2016年4月1日着任

ZHU, Tong

岡崎統合バイオサイエンスセンター
生命動秩序形成研究領域 研究員

平成26年3月に総合研究大学院大学で博士学位を取得し、4月から統合バイオの栗原研究室に研究員として着任しました。これまではタンパク質結晶化やNMRなど生物物理的な手法を用いたタンパク質や糖鎖などの生命大分子の立体構造を解明する研究をしましたが、現在は新しく構成生物学の知識を取り込んで、人工細胞に関する研究に挑戦して行きたいと思っています。宜しくお願いいたします。

2016年4月1日着任

遠 山 遊

とおやま・ゆう

機器センター
特任専門員

本年4月より、ナノテクノロジープラットフォームの事務担当としてお世話になっております。以前も同業務で分子研に勤務しておりましたが、この度2年半ぶりに復帰させていただくこととなりました。久しぶりの環境に懐かしさを感じながらも、組織体制をはじめ変わったことも多く、新たな気持ちで日々過ごさせていただいております。一日も早く業務に慣れ、少しでも皆様のお力になれるよう努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

2016年4月1日着任

稲 垣 裕 一

いながき・ゆういち

技術課
特任専門員

2012年11月より極端紫外光研究施設ビームラインBL4Uの技術支援員としてお世話になっておりました。本年4月から技術課所属となりました。BL4Uの利用者支援は引き続き担当いたしますが、今後は加速器運転や施設・設備の管理が新たに担当範囲に加わります。既存業務の水準向上と、新規業務へ早く対応できるよう鋭意努力いたします。よろしくお願いいたします。

2016年4月1日着任

小杉 優太

こすぎ・ゆうた

技術課
特任専門員



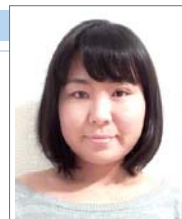
平成28年3月に名城大学大学院理工学研究科博士前期課程を修了し、同年4月より技術課装置開発室の特任専門員としてお世話になっております。大学ではペロブスカイト型色素増感太陽電池の研究をしておりました。機械加工・設計製図に関して素人ではありますが、技術や知識を身に付け、皆様のお役に立てるよう日々努めて参りたいと思っております。よろしくお願いいたします。

2016年4月1日着任

木村 幸代

きむら・さちよ

技術課
特任専門員



4月より技術課機器開発技術班でお世話になっております。着任前は民間企業に勤め、樹脂部品設計、CAE強度解析、デジタルエンジニアリング、社内教育等に携わって参りました。親しみやすく頼りがいのある技術者を目指し、研究者の方々のニーズにお応えできるよう尽力して参りたいと思いますので、ご指導いただければ幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

2016年4月1日着任

兵藤 由美子

ひょうどう・ゆみこ

機器センター
事務支援員



機構が法人化される前の大らかな時代に4年程生理研で教授秘書をしていました。随分と長いブランクを経てですが、この度分子研でお世話になることになりました。以前と変わらぬ緑豊かな環境は素晴らしいですが、いろいろな面で窮屈になったなあと感じています。とはいえ、才能溢れる方々と働けることはとても幸せなことです。一日でも早く仕事を覚えて皆様のお役に立てるように努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

2016年4月27日着任

LE, Quang Khai

光分子科学研究領域
光分子科学第一研究部門 研究員



I was awarded a PhD degree in photonic engineering at Ghent University, Belgium in 2011. My research focuses on design, simulation, fabrication and characterization of functional optical nanomaterials for solar energy harvesting, biosensing and photoluminescence applications. Recently, I have joined in Prof. Okamoto's group at IMS to study excited-state properties of plasmonic nanomaterials and their interaction with molecules by means of near-field optical imaging and relevant techniques. My primary research is to explore chirality of plasmonic nanostructures and optical activity, and its relation to molecular interactions based on near-field and nano-optical methods.

2016年5月1日着任

村木 則文

むらき・のりふみ

生命・錯体分子科学研究領域
生体分子機能研究部門 助教



2013年から3年間の特任助教を経て、今年の5月1日付で助教に着任しました。引きつづき、青野グループで金属が関わるセンサータンパク質の構造と機能に着目した研究に取り組んでまいります。新人とは言えないかもしれませんが、心機一転頑張りますのでよろしくお願い致します。

2016年5月1日着任

WEN, Hsin-I

温欣宜

岡崎統合バイオサイエンスセンター
生命動秩序形成研究領域 研究員



2012年から3年間、名古屋市立大学にて技術支援員として勤務しておりました。今年、5月より統合バイオ栗原グループに研究員として着任致しました。これまで専攻してきた生物を礎に、新しいサイエンス研究を頑張りたいと思います。

子育て中のため、皆様にご迷惑をおかけすることが多いと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。



NEW STAFF

新人自己紹介

2016年6月1日着任

岡崎圭一

おかざき・けいいち

理論・計算分子科学研究領域

理論・計算分子科学研究部門 特任准教授



2009年神戸大学大学院自然科学研究科において博士号(理学)取得後、早稲田大学、アメリカ国立衛生研究所(NIH)、マックスプランク生物物理学研究所での博士研究員を経て、2016年6月に着任しました。計算機シミュレーションを用いて、生体分子モーターやトランスポーターなどの機能ダイナミクスに取り組んでいます。所内で共同研究などできたらいいなと思っています。よろしくお願い致します。

2016年6月1日着任

Anggi Eka Putra

生命・錯体分子科学研究領域

錯体触媒研究部門 研究員



I received Ph.D. degree from Doshisha University in 2014. Then, I worked as a graduate school assistant, a limited-term faculty position at the same university for last two years. My research was mainly focused on the environmentally friendly catalytic system so-called “borrowing hydrogen” methodology. I joined Prof. Yasuhiro Uozumi group at IMS as a postdoctoral fellow since June 2016. Now I am studying polymer-supported metal catalysis and their applications for ideal organic transformations.

アウトリーチ活動

第108回、第109回分子科学フォーラムを終えて

2016年2月15日、第108回フォーラムの講師として上杉志成先生(京都大学 物質-細胞統合システム拠点・教授)をお迎えし、「生物活性分子の新しい世界」というタイトルでご講演頂きました。生理活性を有する化合物の合成法を確立し、それらを医薬品・農薬だけでなく生物学の研究ツールとして利用することの有用性を説かれました。化合物ライブラリーからヒット化合物を探索し、それを鋳型に大きさ・形・官能基などを改良する過程は「お見事!」の一言で、化合物の新たな可能性や未来にかけ上杉先生の情熱がビシビシと伝わってきました。

2016年6月3日、第109回のフォーラムでは、米田穰先生(東京大学総合研究博物館・教授)に「化学分析で読み解く古代人の食生活」というタイトルでご講演頂きました。遺跡などから出土する人骨の同位体分析から、当事の人々(縄文時代人や弥生時代人など)の食生活だけでなく、健康状態や出身地に関する情報までもが得られることに驚かされました。同位体分析は考古学だけでなく犯罪捜査などにも利用されることがあるそうで、分子や原子に記された指紋情報としての応用可能性に改めて感心させられました。

第108回、第109回どちらのフォーラムも盛況で、講演終了後には会場から質問やコメントが多数寄せられました。なお、第110回の分子科学フォーラムでは、Spiber株式会社・取締役兼執行役の菅原潤一氏に「クモ糸から始まる素材革命」というタイトルでご講演をお願いしています(2016年9月9日開催予定)。

(秋山 修志 記)

